


JCI JAPAN TOYP 2020 エントリーシート

氏名*	進藤寛也
フリガナ*	シンドウヒロヤ
所属団体*	株式会社エアシェア
活動内容* (200文字以内)	セスナやヘリコプター、皆さんはどんなイメージを持ちますか？ 高そう、落ちそう、怖そう。 実は全然そんなことはありません。触れるチャンス、知るチャンスが無かっただけなのです。 私はエアシェアというサービスを立ち上げ、誰でも簡単にセスナやヘリコプターに乗れる仕組みを作りました。 家族や恋人とのナイトクルージング、ちょっとそこまで空中散歩、エアシェアを使えば空を自由に移動できるようになるのです。
活動カテゴリ*	<input checked="" type="checkbox"/> ビジネス・経済・起業 <input type="checkbox"/> 学術 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 倫理・環境 <input type="checkbox"/> 青少年育成・世界平和・人権 <input type="checkbox"/> 人道支援・ボランティア <input type="checkbox"/> 科学技術 <input type="checkbox"/> 自己啓発 <input type="checkbox"/> 政治・法律 <input type="checkbox"/> 医療革新 <input type="checkbox"/> その他()
JCI JAPAN TOYP を どこで知りましたか？*	青年会議所会員からの推薦(帯広青年会議所)・ホームページ・フェイスブック・チラシ・メディア()・その他()

■PR活動(全200文字以内厳守)

顔写真*	
------	-------------------------------------------------------------------------------------

<p>経歴 (200 文字以内)</p>	<p>2016 年: 法人設立 2018 年: 商標及び特許出願 2019 年: アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー・チャレンジングスピリット部門北海道大会ベスト 3 選出 onlab 北海道ゲストピッチ登壇 クロステックイノベーション北海道大会特別賞及び協賛企業賞 5 賞受賞 2020 年: 1/10 にサービス開始</p> <p>掲載メディア NHK、日本経済新聞、共同通信社、読売新聞、産経新聞、北海道新聞、十勝毎日新聞、室蘭民報、聖教新聞、マージャーマーケット、中小企業家しんぶん</p>
<p>活動PR1* (200 文字以内)</p>	<p>日本には多くのセスナやヘリコプターがありますが、有効活用されていない現実があります。セスナやヘリコプターは特別な人だけのものではなく誰でも使えるものなのです。エアシェアはそれらの航空機を一般の方に簡単に使えるようにインフラを構築します。ウェブ上で簡単に乗れる機体やパイロットを検索でき、利用料金などもすぐに分かります。誰でもセスナやヘリコプターを簡単にアクティビティや移動手段に使うことができます。</p>
<p>活動PR2* (200 文字以内)</p>	<p>エアシェアは日本初の航空機とパイロットをシェアできるサービスです。航空機とパイロットのシェアリングエコノミーは法規制の観点から不可能だと考えられてきました。エアシェアでは 2016 年から慎重に調査・研究・開発を重ね、国土交通省と多くの調整を行い、日本で初めて適法性と安全性を認められたサービスとして 2020 年 1 月にサービスを開始致しました。また、エアシェアのシステムは先進性が高いと考えられ、現在特許出願中です。</p>
<p>活動PR3 (200 文字以内)</p>	<p>エアシェアは何でもかんでも小型機を使えばいいとは考えていません。既存のエアラインや鉄道網などと組み合わせてベストパフォーマンスとなるように利用して頂くことが利用者にとってもエアシェアにとっても最善であると考えます。エアシェアは従来の交通手段やアクティビティに加え、新たな選択肢として移動や遊びの楽しみを提供致します。</p> <p>エアシェアでは、「安全は全てに優先する」との理念でサービスを提供しております。</p>
<p>SDGsのゴールと ターゲット番号及び 結びつきの説明</p>	<p>番号の記入(11 住み続けられるまちづくり) (11.2 2030 年までに、脆弱な立場にある人々、女性、子供、障害者及び高齢者のニーズに特に配慮し、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善により、全ての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。)</p>

<p>※SDGsの取り組みをしている方は記載をお願い致します。</p>	<p>説明(現在の日本はハブ・アンド・スポークの交通網となっており、都市部に住むもの、都市部へのアクセスは非常に容易になっているが、枝葉である地方から地方への移動は決して用意ではないインフラとなっている。エアシアはこういった地方から地方へのアクセスを容易にすることで人の移動を発生させ、経済活動へ繋げることが可能になると考える。また、容易な移動が確立されることで企業誘致や雇用の促進が進み、当該地域の経済的価値を底上げすることができ、持続的な発展ができると考える。)</p>
-------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

■質問事項 (全200文字以内厳守)

<p>質問1* (200文字以内)</p>	<p>活動を始めたきっかけを教えてください</p> <p>大学の頃より空を飛び始め、故郷へのUターン後に始めた航空NPO活動でプロ操縦士の育成や、小型航空機を共同所有したことで航空業界の大きな歪を明確に理解できるようになってきた。この歪を抱えたままでは30年後の独立した航空業界、航空行政は存続が不可能であり、戦後同様の日本人が飛べない空になってしまうことを危惧し、会社設立に至った。</p>
<p>質問2* (200文字以内)</p>	<p>この活動を通してどのような未来を実現したいと思っていますか(ビジョン)</p> <p>現状では小型飛行機は富裕層のみの遊びと考えられているが、誰もが小型航空機に親しみ、自由に空を飛べる環境とする事で、アメリカに追いつくような航空環境を構築し、航空機製造を含めた航空産業の活性化、人材の育成を行える社会とする。</p> <p>これにより、航空業界を健全な形で持続可能なものとしたい。</p> <p>また、将来子どもたちが空を見上げた時に、夢を見ることのできる飛行機やヘリコプターが飛んでいる自由な空を残したい。</p>
<p>質問3* (200文字以内)</p>	<p>未来を実現するために今行っている具体的な活動をお答えください(アクション)</p> <p>エアシアというウェブマッチングサービスを展開し、誰もが簡単に飛行機やヘリコプターを借り、お気に入り操縦士に希望のフライトを依頼することができるようになった。</p> <p>これは日本で初めて国土交通省が安全対策と適法性を認めたサービスであり、従来できないと考えられていた概念を大きく変えることに成功した。</p> <p>更に、今年中には航空業界や旅行業界全体が利用できるサービスを展開させるため開発を行っている。</p>
<p>質問4* (200文字以内)</p>	<p>あなたの行っている活動は社会にどのような影響を与えていますか(インパクト)</p> <p>新しい交通インフラ、アクティビティとして活用頂きたい。日本の交通インフラの多くは大都市からのハブ&スポーク型となっており、地方都市間の移動は不便な事が珍しく無い。</p> <p>しかしそのような地方都市にも多くの空港、滑走路があり、小型機であれば直接フライトする事が可能である。このような地方都市間を直接移動できるようにする事で人の移動を活発化させ、地方創生の一助になりたいと考える。</p>
<p>質問5 (200文字以内)</p>	<p>あなたの考えるリーダーシップをお答えください</p> <p>人は多くの場合、「ついてこい、やれ」と言っても反発ばかりが大きくなり、組織として上手く行かない事が殆どである。そのため、他者に行動を求めるときはまずは自身の行動を持って示すことが重要と考える。本件においては、私の夢の実現に向かうためのものであるため、夢を言葉にして他者に共感して貰う必要があると感じている。「やってみせ、言って聞かせて、」との山本五十六の言葉は非常に重要なワードと考える。</p>

■推薦者情報 推薦者がいる場合のみ記入

<p>ブロック名*</p>	<p>北海道ブロック 道東エリア</p>
<p>青年会議所名*</p>	<p>一般社団法人帯広青年会議所</p>
<p>担当役職*</p>	<p>会員拡大委員会 委員長</p>
<p>担当者氏名*</p>	<p>松山 岳詩</p>

フリガナ*	マツヤマ タケシ
推薦理由* (200 文字以内)	非常に先進的な取り組みであり、この取り組みが広く周知されれば、候補者の考えるように日本の移動交通手段が大きく変わる契機となると考えられるため。また、本年1月より事業も開始されており、TOYP大賞にて十勝の若者の取り組みを知っていただきたいと考え推薦させていただきました。